

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達 等）脱炭素への挑戦“アンビション・ゼロカーボン”  
アストラゼネカが2015年に策定したカーボンフットプリント削減計画を大幅に加速する取り組みで、その目標は気候変動の科学的見解に沿って検証され、最大10億ドルの投資を行ってこれらの目標を達成していきます。

- ✓ 2030年までにバリューチェーン全体（Scope 3\*含む）の温室効果ガス排出量を2019年比で50%削減する。また、自然由来のソリューションへの投資を通じ、排出するCO2よりも多くのCO2除去により、全排出量の残りをカーボンネガティブとします。
- ✓ 2045年までにバリューチェーン全体の温室効果ガス排出量の絶対量を2019年比で90%削減する。科学的根拠に基づくネットゼロ目標達成のために、自然由来のソリューションを通じ最終的に10%未満の残余排出を除去します。

参考弊社ウェブサイト：<https://www.astrazeneca.co.jp/sustainability/environmental-protection.html#zero-carbon>

### 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

#### ①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

## ②型管理などのコスト負担

「型取引の適正化推進協議会報告書」に掲げられている「型取引の基本的な考え方・基本原則について」や、「型の取扱いに関する覚書」を踏まえて型取引を行い、不要な型の廃棄を促進するとともに、下請事業者に対して型の無償保管要請を行いません。

## ③手形などの支払条件

下請代金は現金で支払います。

## ④知的財産・ノウハウ

取引における知的財産の保護・知的財産権の譲渡等その他の知的財産の取扱いについては、「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」の趣旨を踏まえて契約書にて条件を明確化するようにします。取引上の立場を利用した、片務的な秘密保持契約の締結、不当なノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

## ⑤働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

## 3. その他

弊社ではアストラゼネカグローバルの標準に従い取引をおこなっています。また取引先様にも同様の基準でご協力をお願いしています。参考資料“ASTRAZENECA GLOBAL STANDARD EXPECTATIONS OF THIRD PARTIES(お取引先様への期待事項)：

<https://www.astrazeneca.com/sustainability/ethics-and-transparency.html>

参 考 日 本 語 訳 ： <https://www.astrazeneca.co.jp/content/dam/az-jp/responsibility/suppliers/Expectations-of-Third-Parties-jp.pdf>

2024 年 12 月 23 日

アストラゼネカ株式会社  
企 業 名

代表取締役社長 堀井 貴史  
役職・氏名（代表権を有する者）